

## Part 1 | What did the boy succeed in doing?

The preparation was complete, so I just waited for a miracle to happen.

文法) 不定詞の形容詞的用法

修飾される名詞が不定詞の主語や目的語の働きをします。ここでは名詞が不定詞の主語、不定詞が動詞の働きをしています。

(省略) , so I just waited for <sup>主語</sup> a miracle <sup>動詞</sup> to happen. ⇒ a miracle happens.

単語) preparation 「準備、用意」 (130)

complete 「完了して、終了して」 (40)

訳) 準備が完了したので、私は奇跡が起こるのを待っていました。

News of the unfamiliar machine had already spread all over the village.

単語) unfamiliar 「親しんでいない、不慣れで、未知の、なじみの薄い」 (284)

spread 「広がる、及ぶ、拡大する」 spread - spread - spread (109)

訳) 未知の機械のニュースはすでに村中に広がっていました。

One person after another was starting to arrive.

訳) 次から次に人が集まり始めました。

Some of those people had made fun of me for months.

熟語) make fun of A 「A をからかう」 (631)

訳) それらのうちの何人かは数ヶ月私をからかいました。

I slowly climbed up the wooden tower until I faced the machine's frame.

単語) wooden 「木製の、木でできた」 ※発音注意 /wúd(ə)n/ 「ウドウン」

face (v) 「～に向かう、直面する」 ※ v = verb 「動詞」

frame 「骨組み、枠組み、フレーム」 (747) ※ flame 「炎」 (1450)

訳) 私は機械の骨組みに直面するまで、木製の塔をゆっくり登りました。

Each piece seemed to be telling me its own tale that it had been lost and found in a junkyard:

文法) 2つの出来事の時間的な前後関係を表す過去完了形

過去に起こった2つの出来事について、実際に起こった順序とは逆の順序で述べる場合、時間的に前に起こった出来事を過去完了形にします。(大過去)

この文では、「seemed」のは「had been lost」の時よりも前のことなので、「過去形」より更に過去に起こった出来事を「過去完了形」にしています。2つの出来事の時間的な前後関係を明確にしています。

文法) each と every は単数扱い

この文では each の後ろの piece が単数形であることはもちろんですが、「its」と that 節以降の主語が「it」であることに注意してください。

単語) tale 「話、物語」 ※ fairy tale 「おとぎ話」 The tale of Genji 「源氏物語」

junkyard 「廃品集積所」

訳) 廃品集積所でそれぞれの部品が捨てられ、そして見つけられたという自分自身の話を私に話しかけているようでした。

"Finally together now, we all have been reborn."

単語) finally 「ついに、とうとう」 ※ 類義 at last, eventually  
reborn 「復活する、生まれ変わる」

訳) ついに今一緒になった。我々みんな生まれ変わった。」

Down below, someone said, "Quiet! Let's see how crazy this boy is."

単語) quiet 「静かな、音を立てない」  
crazy 「正気ではない、ばかげた」

訳) 下の方で誰かが言いました。「静かに！この少年がいかにばかげているか見てみよう。」

A steady wind was blowing against the machine.

単語) steady 「着実な、安定した、絶え間のない、不変の」 (880) ※発音注意 /stédi/ 「ステディー」  
blow 「(風が) 吹く」 ※whistle blower 「内部告発者、密告者」 Edward Snowden が有名。

訳) 安定した風が機械に向かって吹いていました。

The blades of the machine began to turn swiftly like propellers.

単語) blade 「刃、刃物、羽根」 (873)  
swiftly 「素早く、速く」 (1684)  
propeller 「プロペラ」 ※ propel 「～を推進する、進ませる」

訳) 機械の羽根はプロペラのように素早く回転し始めました。

"Come on," I begged.

単語) beg 「～を懇願する、願う、切に頼む、物乞いする」

※ I beg your pardon? 「何とおっしゃいましたか?」 類義 "Pardon (me)?" "What did you say?" "Excuse me?" "I'm sorry?"

熟語) come on 「来い、頑張れ、その調子、大丈夫、おいおい、お願いだよ」

訳) 「頑張れ！」と私は願いました。

"Don't embarrass me now."

単語) embarrass 「(人) に恥ずかしい思いをさせる、困らせる」 (522)

訳) 恥をかせさないでくれよ。

I held the bulb, waiting for a miracle.

文法) 分詞構文 副詞的に文の情報を補足する分詞のことです。ここでは「～しながら」という意味で使われています。

単語) hold 「持っている、つかんでいる、握っている、開催する」  
bulb 「電球」

訳) 私は奇跡が起こるのを待ちながら、電球を握りました。

Finally, the moment came.

訳) ついにその瞬間が来ました。

At first a tiny light shone unsteadily from my palm, then a magnificent glow.

単語) tiny 「とても小さい、ごくわずかの」 (390) ※発音注意 /támi/ 「タイニー」

shine - shone - shone

unsteadily 「不安定な、頼りない」

palm 「手のひら、ヤシ」 ※発音注意 /pa:m/ 「パーム」 ※read one's palm 「手相を見る」 palm reader 「手相占い師」

magnificent 「見事な、立派な、壮大な」 (1300)

glow 「光を放つ」 (1377)

訳) 最初はとても小さな光が私の手のひらから頼りなく光り、そのあとは見事な光りを放ちました。

My heart nearly burst.

単語) heart 「心情、気持ち」

nearly 「ほとんど、危うく～するところで」

burst 「破裂する、飛び出る」 (938)

訳) 私の気持ちは破裂するところでした。

"Look!" someone said. "He's made light!" Yes! He was right!" said another.

文法) He's made light.は He has made light の短縮形

訳) 「見て！」と誰かが言いました。「彼が明かりをつけた！」「ああ、彼は正しかったのだ。」と他の人が言いました。

※多義語 light 「光り、明かり、マッチ・ライター、明るい、淡い、薄い、軽い、少量」

right 「正しい、正確な、右、正常で、すぐに、まさに、権利、右翼」

It was absolutely my glorious light!

単語) absolutely 「まったく、絶対、完全に、もちろん」 (1199)

glorious 「栄光ある、名誉ある、華麗な」 (1572)

訳) それは完全に私の輝かしい光りでした。

I threw my hands in the air and screamed with joy.

単語) scream 「叫ぶ」

訳) 私は手を上げて喜びとともに叫びました。

"Electric wind!" I shouted.

単語) electric 「電気の、電気を起こす」 ※発音注意 /ɪléktrík/ 「イレクトリック」

訳) 「電気を起こす風だ！」と私は叫びました。

"I told you I wasn't mad!"

単語) mad 「気が狂った、狂気の」

訳) 私はおかしくなかったとみんなに言ったよね。

One by one, people in the crowd raised their hands in the air, clapping and shouting, "You did it, William! Well done!"

分詞構文) 説明省略

単語) crowd 「群衆、人混み」※発音注意 /kraʊd/ 「クラウド」

raise 「～を上げる」

clap 「拍手する」(1408)

William (愛称 Bill, Billy, Will, Willy)

熟語) one by one 「一人ずつ、一つずつ」(402)

well done 「よくやった、でかした」

訳) 群衆の一人一人が、「君がやったんだね、ウィリアム！良くやった！」と拍手して叫びながら自分たちの手を上げました。

## Part 2 | What did the boy do to keep his brain from getting dull?

I was born and brought up in Malawi, one of the poorest countries in Africa, where magic ruled and modern science was a mystery.

文法)関係副詞 文中の名詞を形容詞節で修飾するには、その名詞に代わる副詞と接続詞の働きを兼ねる関係副詞を使います。またここでは「非制限用法」で使われています。・・・, where (= and there) 「そしてその場所で」

単語) magic 「魔術、魔力、呪術」

rule 「～を支配する、～を統治する、君臨する」 ※ Ichiro rules! 「イチロー最高！」

熟語) bring up 「～を育てる」 (66)

訳) 私はマラウィで生まれ育ちました。マラウィはアフリカの最貧国のうちの1つで、そこは魔力が信じられ、現代科学は不思議なものでした。

It was also a land suffering from drought and hunger, and a place where hope and opportunity were hard to gain.

単語) suffer 「患う、苦しむ、損害を受ける」 (233)

drought 「干ばつ、水不足」 (671) ※発音注意 /draʊt/ 「ドラウト」

hunger 「飢餓」 ※ hang 「～を掛ける、つり下げる、絞首刑にする」 hang up 「電話を切る」 ⇔ hold on 「電話を切らない」 answer the phone 「電話に出る」 answering machine 「留守番電話」

opportunity 「機会、チャンス」 (43)

類義 chance は偶然の好機を意味し、好機再来の有無を意識する際に好まれます。opportunity は機会が何度か訪れることを前提としたり、機会の質を意識する場合に好まれます。occasion は個々の具体的な機会・時を意識する際に好まれます。

熟語) by chance 「偶然に」

gain 「手に入れる、獲得する」 (126)

熟語) suffer from A 「(病気など)に悩む、Aで苦しむ」 (40)

訳) それは干ばつや飢餓にも苦しんでいる国で、希望を持つことや機会を得ることが困難な場所でした。

Only two percent of the population could use electricity.

単語) population 「人口」

electricity 「電気、電力」

訳) 人口のたった2パーセントだけが電気を使うことができました。

Most people burned wood for lighting and cooking.

訳) ほとんどの人々は明かりや料理のために木を燃やしました。

Besides, on many large plantations of tobacco, people burned lots of trees to dry the tobacco leaves with the heated air.

文法) with 「～と一緒に」という同伴を表すのが基本ですが、何かとの関係や関連を表すときにも用いられます。ここでは後者の意味で使われており、その意味の広がり度で「道具」を使うときに用いられています。

文法) 分詞の限定用法

分詞が名詞を修飾し、その意味を限定することです。分詞には現在分詞と過去分詞があり、現在分詞は能動の意味、過去分詞は受動の意味になります。分詞に修飾される名詞は意味上の主語に、その分詞が意味上の動詞になります。ここでは「air is heated.」と捉えてください。 cont'd

単語) besides 「さらに、その上、他にも」

plantation 「大農園、大農場」

tobacco 「タバコ」

leaf 「葉」 pl. leaves 類義 wife -> wives wolf -> wolves shelf -> shelves knife -> knives ※ pl. = plural 「複数形」

訳) さらに、多くのタバコの大農場で、人々は熱せられた空気でタバコの葉を乾かすためにたくさんの木を燃やしました。

In 2001, one of Malawi's worst droughts, which killed thousands of people, left my family on the brink of starvation.

文法) 関係代名詞の非制限用法

文中の名詞について、関係代名詞を使って何か説明を付け加える用法を非制限用法といいます。この場合の先行詞となる名詞は、「特定の人やもの」である場合が多いです。

単語) brink 「間際、瀬戸際」 ※ blink 「まばたきする、点滅する」 blinker 「(車の) 方向指示器」

starvation 「飢餓、餓死」 (1119) ※ starve 「餓死する、腹が空いている」 I'm starving! 「超腹減った！」

熟語) on the brink of A 「A に至る間際で、A の瀬戸際で」

訳) 2001 年、マラウィでの最悪の干ばつの 1 つで、数千人の人々が亡くなったが、私の家族を餓死の瀬戸際に追いやりました。

We had no choice but to go to down to one meal a day.

文法) 疑似関係代名詞 but

否定を伴った語句を先行詞として、否定の意味を表す関係代名詞のように使われることがあります。あまり用いられない文章体の表現です。

訳) 私たちは 1 日に 1 回食事に行くことしかできませんでした。

My parents couldn't pay the school fees and I had to leave school at the age of 14.

単語) fee 「料金、報酬、納付金」

類義 fare 「(交通機関の) 料金、運賃」 charge 「(サービスに対する) 料金、使用料」 cost 「(支払うべき) 費用、値段」 rate 「(一定の基準に沿った、主にサービスや商品に対する) 料金、値段」

訳) 両親は学費を払うことができず、私は 14 歳で学校を辞めなければならませんでした。

However, I had already noticed a change happening in myself.

文法) 分詞の限定用法 説明省略

ここでは「a change is happening」と捉えてください。

単語) notice 「～に気付く」 (32)

訳) しかし私は自分自身で変化が起こっているとすでに気付いていました。

I had begun to get interested in knowing how radios worked and how petrol moved a car engine.

単語) petrol 「ガソリン (英)」 ※ gas (米) gas station 「ガソリンスタンド」

訳) 私はラジオがどうやって動作するのか、どうやってガソリンがエンジンを動かすのかに興味を持ち始めていました。

I missed school terribly, longing for something to satisfy my brain.

文法) 分詞構文 説明省略

単語) miss 「残念に思う、(人・物) がいない (ない) ので寂しく思う」

terribly 「ひどく、ものすごく」

satisfy 「満足させる、喜ばせる」(227)

熟語) long for A 「A を切望する」(415)

訳) 私は私の脳を満たしてくれる何かを切望しながら、学校に行けないことをものすごく残念に思っていました。

I remembered Wimbe Primary School had opened up a small library.

文法) 接続詞 that の省略 接続詞 that は省略することができます。

主語 1 動詞 1 省略 主語 2 動詞 2 目的語

I remembered (that) Wimbe Primary School had opened up a small library.

文法) 2 つの出来事の時間的な前後関係を表す過去完了形 説明省略

訳) 私はウィンベ小学校が小さな図書館を開いていたことを思い出しました。

I thought reading could keep my brain from getting dull.

文法) 接続詞 that の省略 説明省略

主語 1 動詞 1 省略 主語 2 動詞 2 目的語

I thought (that) reading could keep my brain from getting dull.

文法) 可能性・推量を表す助動詞「can」「ありうる」「かもしれない」という可能性を表しています。

単語) dull 「退屈な、活力がない」

熟語) keep A from B 「A を B から防ぐ、A を妨げて B をさせない」(527)

訳) 読書は脳を退屈にならないようにしているかもしれないと私は思いました。

I was so hungry for knowledge that I read one book after another.

文法) so … that ～ 「とても…なので～」という結果や程度を表します。

主節 接続詞 従属節

I was so hungry for knowledge that I read one book after another.

「so」はもともと「とても、非常に」という意味があることを知っていて、さらに接続詞の that ということが分かっていれば、「so … that ～ = とても…なので～」と覚える必要はありません。接続詞の that なので省略されることがあります。なので、単純に「so … that ～ = とても…なので～」とだけで覚えると、that が省略された場合、対処できなくなるので注意してください。

文法) 時制の一致 従属節の動詞が主節の動詞の時制との関係で決まることをいいます。ここでは「read」と「was」が同じ時点のことを表しています。従って「read」は過去形です。

単語) hungry 「渴望して、強く必要として」

knowledge 「知識」※発音注意 /nɑ́(:)lɪdʒ|nɔ́l-/ 「ナリッジ」

熟語) one after another 「次々に」(728)

訳) 私は知識にとっても飢えていたので次々と本を読みました。

## Part 3 | What did the boy learn about energy from the book Using Energy?

I read through the textbooks on English, history and science.

訳) 私は英語、歴史そして科学の教科書を始めから終わりまで読みました。

I visited the library in the mornings and spent the afternoons reading in the shade of trees.

単語) shade 「日かげ」

訳) 私は朝図書館を訪れて、午後には木陰で本を読んで過ごしました。

主語 動詞 1 目的語 1 等位接続詞 動詞 2 目的語 2  
I felt truly grateful for being able and realized how important learning was.

単語) grateful 「感謝している」 (1188)

realize 「認識する、気づく」 (28)

訳) 私は読書を通じてたくさんのことを学べる事に本当に感謝し、勉強がどれだけ大切なのかを認識しました。

One day I came across an American textbook titled Using Energy, which greatly changed my life.

文法) 関係代名詞の非制限用法 説明省略

単語) title (v) 「タイトルをつける」 ※ (n) 「タイトル、題名、肩書き、職名」 n = noun 「名詞」

greatly 「大いに、非常に」

熟語) come across 「～に偶然出会う、～を偶然見つける」 (448)

訳) ある日私は「エネルギーの利用」という題名のアメリカの教科書を偶然見つけました。その本は私の生活を大いに変えました。

The book said, "Energy is all around you every day.

単語) say 「～と書いてある」

訳) その本には「エネルギーは毎日あなたの周りにあります。」と書いてありました。

Sometimes energy needs to be converted into another form before it is useful.

単語) convert 「～を変える、～を交換する」 (819)

form 「形態、形状」

useful 「役に立つ、助けとなる」

訳) 時には、エネルギーが使えるようになる前に別の形に変換する必要があります。

How can we convert forms of energy?

文法) 漠然と人々を表す「you」「they」「we」

話し手を含み、広く「people」の代わりに使います。

漠然と人々を表す「you」「they」「we」は、必ずしも日本語に訳す必要はありません。日本語では特に具体的な対象を念頭に置いていない場合には、そのような代名詞は使わないのが普通だからです。

一方、英語では「主語 + 動詞」が文の骨組みです。特に誰かを指していなくても、文の形を成立させるためには主語として名詞や代名詞を用いる必要があります。

訳) どうやってエネルギーの形態を変えることができるのでしょうか？



Read on and you'll see."

文法) 命令文 + and/or

命令文の後で「and」が使われると「そうすれば～」という意味を表します。また「or」が使われると「そうしないと～」という意味を表します。

e.g.

(1) Get up early tomorrow, and you'll have time to eat breakfast.

明日の朝早く起きなさい。そうすれば朝ごはんを食べる時間があるよ。

(2) Drive more slowly, or you'll have an accident.

もっとゆっくり運転しなさい。そうしないと事故を起こしますよ。

単語) see 「分かる、理解する、気づく」

熟語) read on 「続けて読む」

訳) 続けて読んでください。そうすれば分かるでしょう。

So I read on and on.

熟語) on and on 「続けて、休まずに、どんどん」(241)

訳) なので私は読み続けました。

I learned people in Europe and the Middle East used windmills for pumping water and grinding grain.

単語) learn 「知る、理解する」

Middle East 「中東」

pump 「くみ上げる」

grind 「砕く、挽く」(1630) ※発音注意 /graɪnd/ 「グラインド」

grain 「穀物」(463)

訳) 私はヨーロッパと中東の人々が水をくんだり穀物を挽くのに風車を使っていることを知りました。

It occurred to me that many machines, if used together, could make as much energy as a power plant.

文法) 挿入 (句)

文中に、前後を comma(,)や dash(-)で区切って、独立的に慣用的な語句を入れることを挿入と言います。文頭に置くこともできます。ここでは「挿入句」が使われています。

例えば、句(if used together)を文頭か文後に置くと以下ようになります。

If used together, it occurred to me that many machines could make as much energy as a power plant.

It occurred to me that many machines, if used together, could make as much energy as a power plant, if used together.

ですが、あえて文中に挿入しています。訳す時には本文と挿入句それぞれ別にします。

※句と節 2つ以上の語のまとまりが1つの品詞と同じ働きをして、その中に「主語 + 動詞」がないものを「句」、「主語 + 動詞」があるものを「節」と言います。

文法) 形式主語

不定詞句や that 節が主語として用いられる場合、主語の位置に「it」を形式的に主語として置き、真の主語である不定詞句や that 節を動詞の後ろに回します。

単語) occur 「考えが思い浮かぶ」(110) ※発音注意 /əˈkɔːr/ 「アカー」強勢は第2音節

熟語) power plant 「発電所」※ nuclear power plant 「原子力発電所」

訳) 一緒に使うと、多くの機械が発電所と同じくらいのエネルギーを作り出すことができるのではないかと思いました。

Then, I understood the machines were driven by the wind.

単語) drive 「～を作動させる、動かす」

訳) その後私は機械が風で動いていることが分かりました。

英語読解のポイント 同じ単語を使うことを避ける。

英語は同じ単語を使うことを避けます。ここでは動詞が該当します。

- I learned people in Europe and the Middle East used windmills for pumping water and grinding grain.
- It occurred to me that many machines, if used together, could make as much energy as a power plant.
- Then, I understood the machines were driven by the wind.

これらは「分かる、知る、思う」というような意味で使われています。長文読解でもし分からない単語があったら、前後の文から推測できます。

Another idea suddenly came to me, and I imagined myself spinning the pedals of a bicycle.

文法) 再帰代名詞の用法

他動詞の目的語が主語と同じ人やものである場合、目的語には再帰代名詞を用います。動作の対象が他者ではなく、その人(もの)自身であることを表します。

訳) 急に別の考えが思い浮かび、私は自転車のペダルを漕いでいることを想像しました。

"The energy for movement is provided by the rider," the book said.

単語) movement 「運動、動き」

訳) 運動エネルギーは自転車を漕ぐ人によって提供されます。」と本に書いてありました。

I understood.

訳) 私は(次のことが)分かりました。

"Yes, of course! The rider is the wind!

「ああ、なるほど。漕ぐ人が風だ。」

The wind can spin the blades, rotate the magnets in a dynamo, and create electricity!

文法) 等位接続詞「and」

「and」の基本は複数のものをつなぐことにあります。そして「等位」という言葉が示している通り、つなぐものはそれぞれ「等しいもの」です。

The wind can ① spin the blades,

② rotate the magnets in a dynamo,

and

③ create electricity!

単語) rotate 「回転させる、回す」(1719)

dynamo 「発電機」

訳) 風が羽を回し、発電機内の磁石を回転させ、発電できます。

And a windmill can rotate a pump for irrigation and make electricity."

単語) irrigation 「灌漑」

訳) そして風車は灌漑用にポンプを回転させ、電気を作ることができます。

## Part 4 | According to the boy, what is important in realizing our dreams?

I thought: "With a windmill, we could finally free ourselves from the serious trouble of famine.

文法) With...などが条件を表す仮定法

「With[Without]...」の形で、仮定法の条件を表す場合があります。

if節を使わずに「もし～なら」という意味を表すことができます。

「with～」は「～があれば/～があったら」、「without～」は「～がなければ/～なかったら」という意味を表します。「without」の代わりに「but for」を使うことができますが、文章体の表現です。

「with[without]～」の文の<時制>

この表現の時には動詞が使われません。そのためいつのことを言っているのかは、ふつう主節の動詞から判断します。ここでは「could (finally) free」から「今」のことだと判断します。

単語) free (v) 「～を逃れさせる、釈放する、自由にする」※多義「自由な、無料の、暇な、～がない」

serious 「深刻な、危険な」

famine 「飢饉、飢餓」(959)※発音注意/fæmɪn/ 「ファミン」

熟語) free A from B 「AをBから逃れさせる、AをBから解放する」

訳) 私は「風車があれば、私たちはついに深刻な飢饉の問題から私たち自身を解放することができるかもしれません。」と思いました。

With a windmill, I could stay awake at night, reading instead of going to bed at seven."

文法) With...などが条件を表す仮定法 説明省略

文法) 分詞構文 説明省略

熟語) stay awake 「起きている」

instead of ～ 「～の代わりに、～しないで」(146)

go to bed 「寝る」

訳) 風車があれば、私は7時に寝ずに本を読みながら遅くまで起きていられます。

In Malawi, the steady wind is one of the few precious things God gives us.

単語) precious 「貴重な、大切な」(887)※発音注意/prɛʃəs/ 「プレシャス」

訳) マラウィでは、断続的に吹く風は神が我々に与えているいくつかの貴重なものの一つです。

Looking at the textbook, I had a dream that I would build a windmill to pump water and bring electricity to my village and my family.

文法) 分詞構文 説明省略

訳) 教科書を見ながら、私は水をくむための風車を作ることや、自分の村と家族に電気を送るという夢を持ちました。

The story of my successful windmill was first printed in Malawi's The Daily Times.

訳) 私の成功した風車の話は、マラウィのデイリータイムズに最初に掲載されました。

Later on, I was invited to talk at a big conference, TED Global, twice.

単語) conference 「会議、大会、総会」(360)

熟語) later on 「後で」(400)

訳) 後に、私は大きな会議のTED グローバルで話すために2度招待されました。

There I said, "Since I had a dream, I just tried and I made it come true."

単語) since 「～なので、～だから」 類義語 because, as, so

熟語) come true 「実現する」 (127)

訳) そこで私は「私には夢があったので、私はただ挑戦し、実現させました。」と言いました。

I'd like to say to all the people, to the Africans, to the poor like me, who are struggling with their dreams, "Trust yourself and believe. Even if something unexpected happens, don't give up!"

文法) the + 形容詞 「人・人々」という意味になります。

文法) 関係代名詞の非制限用法 説明省略

単語) struggle 「奮闘する、苦闘する、もがく」 (260)

unexpected 「予期しない、思いがけない」

熟語) would like to do 「～したいと思います」という丁寧な申し出や希望を表します。「want to do」よりも丁寧で控えめな言い方です。

even if 「たとえ～でも」

訳) 私はすべての人々、アフリカ人、私のように貧しい人々で、自分たちの夢にもがいている人々に「自分自身を信用して、そして信じて。たとえ何か思いがけないことが起こっても、決してあきらめないで！」と申し上げたいと思います。

Thanks to those who heard the news over the Internet and came up to support me, I can get an education back in school now.

文法) those who 「～である人々」

代名詞 「those」にはもともと「(一般的な)人々」という意味がありますが、ほとんどの場合、関係代名詞「who(whose/whom)」と一緒に使われます。

熟語) thanks to ～ 「～のおかげで」 (151)

come up 「近づいてくる」

back in school 「学校に戻る」

訳) インターネット上でニュースを聞いて私を支援してくれた人々のおかげで、私は今では学校に戻って教育を受けることができます。

I am sure you will also be able to realize your dream as long as you believe in yourself and keep on learning on your own.

単語) realize 「実現する、達成する」 (28)

熟語) be sure 「確信する、自信がある」 (221)

as long as 「～である限りは、～でありさえすれば、～もの長い間」 (769)

believe in ～ 「～の存在を信じる、～がいると思う、～を信頼する」

keep on doing 「し続ける」

on one's own 「自分1人で、独力で」 (941)

※ Do you believe in God/ghost/love? (目に見えないものの存在を信じるか?)

I believe in him. 「人格的に彼を信頼している。」

I believe him. 「彼の言葉を信じる。」

訳) 私は自分自身を信じて自分自身で学び続ける限り、夢を実現することができると確信しています。